瑞雲

第２号

１９６７・９　　直方鉄工青年会

直方鉄工会の青年に寄せる

富士コンベヤー株式会社　社長　吉村敏夫

直方青年会の皆様が志しを一つにし、新時代の直方市の指導者として、いろいろの会合あるいは催しごとを着実に実行に移され、多大なる成果をあげられておられるのは、市民各界の人から高く評価されています。

今回青年会より、私の今日までの体験談及び今後の社会見通しに付、何か意見を発表されたいとの依頼を受けましたが、私も別にこれという意見もありませんが私なりに思ったままのことを少々書かせていただきまして、皆様の御参考になれば幸せだと思います。

私自身、皆様の御承知の如く、直方に生れ、今日まで直方の皆様にお世話になっておりますので、直方市が発展することについては、出来るだけの協力を惜しまないつもりです。

大正の初期から昭和の初期までは、直方は、機械工業が発展の一路をたどり、特に石炭産業に非常な恩恵を受けて、炭坑機械であれば、製作品あるいは、中古品にせよ、何でも揃う。今でいえば炭坑機械のデパートといっても過言ではない時代でした。

大東亜戦争が終り、我国が敗戦国となり、明治維新と同様に国の形態が全然変り、財閥解体、資金封鎖等で、国民全体が新しいスタートラインを切って、実力主義で２１年から今年まで続いております。

国家の変転と共に、石炭産業も今日の苦境をのりこえるべく、最大の努力をはらわれております。

戦前、石炭産業が今日のように衰退するということは、誰も想像した人はいな

かったでしょう。だがよく見渡せば、宇部炭坑おきの山炭坑の初代経営者、現在の宇部興産の大をなされた実績は、いかに先見の目があったかということを社会の皆が認めていることです。同じ石炭産業でもこういったことが出来るということは、やはり十年あるいは十五年先のことをよく考えて行けば、現実に出来ています。そこで我々直方中小企業の鉄工会としては、大資本の石炭産業の苦境をみるとき、より一層に考えを新たにしなければいけないと思います。

ではこれから先の直方の鉄工会として進む道を、私なりに率直に意見をのべます。

国家の産業の伸張の度合にあわせた方向にもっていくべきだと思います。

たとえば造船部門世界第二位、自動車産業は現在世界第三位ですが、今年度は西独をぬいて第二位にならんとしています。

そこで直方の今まで炭坑機械の技術及び設備を活かすとすれば、造船部門の低圧ポンプ、あるいはバルブ関係を各自、分業方でやることを研究し、幸い九州には三菱長崎造船、佐世保船舶工業、三菱の下関造船等がありますので、船舶用のポンプ、バルブはいかなる品種のものかよく研究し、その受註の方法についての私案はあとでのべます。

青年会の皆様はいろいろと協議されたことを積極的に実行された実績もありますので、今から述べますことは、自動車工業に新しく進出するとした場合、先祖から譲り受けられた事業はそのままとし、皆様の中より意見一致された方は出資され、一つの法人組織をつくり、自動車工業向の機械を設置し、まず第一歩を踏み出され、この際経営は自動車工業に精通された専門家を経営にあたらせ、逐次拡大して、その時の資金は市当局あるいは県の中小企業金融公庫等のいろいろな金融関係に相談することも出来ると思います。要は話し合いも充分に話しあいをされた上で、まず第一歩を踏み出されることが肝要です。

そこで造船部門の仕事をするとすれば、設備投資は在来の設備で分業法に切りかえられ、運転資金として各自出資され、受註の態勢を整えてゆく方法もあります。

現在直方で鉄工会として苦難の道を切り開いて、独自の製品を作られている工場もあります。一例をあげれば、皆様御承知の直方菌車工場、村井製缶工場油圧機械、九州鋳鉄管等はいろいろな苦難の道もあったかと思いますが、現在では一応軌道にのっていると思います。

以上私の思ったままのことを書いておりますが、可能な線と不可能な線があると思いますが、そこは時代を担う直方の青年会の熱と実行力にまつ以外はないと思います。

鉄工青年会に期待する

直方鉱業試験場長　佐々木　正　弘

会報が出た。一読して、正直の話、嬉いた。見事なものである。適当なユーモアもあるし、編集も仲々ユニークだ。第一若さにあふれているのがいい。

それぞれ、責任ある地位にあり、多忙な毎日を送っている人達の手で出来上ったものとは思えない。

心からお祝いを申し上げたい。

さて、「直方の鉄工界よ、何処へ行く」と言えば、何やらのタイトルめくが、直方市民全部が関心をもっている課題であろう。

勿論、会員諸氏においても、日夜それぞれの企業について、将来の抱負なりプランもあろう。が、もう現在の産業界では個々の中小企業の力ではどうにもならない時点に来ているということは、会報にも村井前会長やD I氏が書いている通りだ。団結・協力以外には脱皮できる道はないと声を大にして叫んでいる。正にその通りだ。

しかし、その叫びがどれだけ具体化されているか。たしかに青年会の団結は今までの鉄工界になかった力強さを見せてはいる。

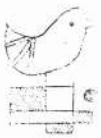
積立金が1千万になった。会報もでた。経営研究会も開いている。―― しかし、具体的活動としては如何にも弱いという感じがする。

未だ何かないか。強力な団結でできるものはないか。話は随分聞く。曰く、鋳物工場の集団化、原材料倉庫、受注会社etc‥‥etc‥‥。

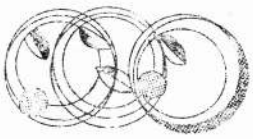
大いに頑張って貰いたい。将来筑豊地区には直方を中心として、自動車産業を誘致、一大内陸工業地帯を現出するプランがあるとも聞く。それに対する対策も必要だ。益々忙がしくなる。考えようによっては、将来はバラ色にも見える。がバラ色にするかしないかは、鉄工界の努力如何にかかっていよう。特に青年会の活躍に‥‥‥。

若さは何ものにもまして尊い。若さには夢があり、可能性の魅力がある。

心から青年会の活躍を祈ってやまない。



直方鉄工根生記②



(訪問先) 渡辺製缶工場　渡　辺　俊　次　社長

工場に伺うと御本人にお会いする前に工場内の整理整頓の良さ、水を打ち、掃き清められた広場、いかに堅実で几帳面な性格の社長であるか、一面識のない人でも想像がつく。応接間には額が11、技術・安全・衛生の表彰状で一杯だ。

気軽に過去の苦労話を始めてくれる。「生れは福岡、博多織物の工場を経営していた実父が、酒と遊芸に身代を潰し、尋常小学校卒業後、親類先である直方の川村製缶工場に年期奉公を、従業員には全然親類ということを秘して頑張りました。当時は勤務時間というものはなく、朝は明るい内から、夜は日の暮れるまで技術を早く覚えたい一心で、時々使いにやらせられるよりも、ハンマーを振っていた方が嬉しかった位です。

その頃は仕事も充分なく、一月の内半月位は休日の月も多く、仕方なしに今で言う「素昆布」の様な食物を詰めた箱を自転車に山の様に積んで、遠くは添田町まで売りに行ったものでした。大正12年関東大震災の時に入隊、除隊して帰ると川村鉄工所は倒産していましたので、今の「久栄食堂」の隣の倉庫を借りて資本金18円で独立(18円‥一級職人の半年分の給料)し、川野商店(その当時鉱山用品専門の三井炭坑の御用商社)より鉄製炭車の註文を受け、その技術を認められて受註量が増大の途中、川野商店がある事情により蹉跌しましたが、三井田川炭坑より直接仕事をしてくれとの話があり、永い努力の甲斐あって幸運を掴むことが出来ました。兩米戦争中も軍の威圧もありましたが、三井田川さんの御恩を忘れず始んど三井一本で通しました。お蔭で戦後その協力を感謝され、田川所長より御墨付を受け、現在も保存しております。炭坑は悪くなり、仕事も少くなりましたが、私の生きている限り三井さんの仕事を優先することは間違いありません。もう45年来のおつき合いですからね」　トツツツと話される社長の顔をみつめながら聞いているうちに、仕事一筋に打ちこまれたその誠実な信念に打たれ、思わず2時間もお邪魔してしまった。奥さんの内助の功も現在迄に到達された一つの原因であることも事実である。本当に直方らしい鉄工根生物語りである。

歴代理事長訪問②

五代理事長

花田勘平氏

山部の自宅に入るなり、先ず中小企業の父である岩川義介氏の写真の大額が掲げてある。

青年会からの訪問とて喜んで応待して戴く。

先ず鉄工界に足を踏みこまれた動機からお話しを伺う事にした。

○昭和　７年　組合書記　　２７才
○昭和１５年　理事長就任　３５才
○昭和１５年　直方市市会議員当選

私の理事長当時は、軍の圧力により鉄工材料の統制が始まり、その為、炭坑の仕事が出来ないので、組合の一番大事な仕事としては、素材を如何にして調達するかという事であった。その為リンク制度（その当時としては画期的なことであった）を取り、炭坑より製品を作るに必要なだけの材料をもらい、苦労したがそのうち戦争もいよいよ激しくなり、軍の仕事を強制的にせねばならぬ様になり、空軍関係のウイングポンプ（飛行機にガソリンを送るポンプ）を作ることを命ぜられ、組合で初め共同受註を始めたが、技術的に非常にむつかしく、赤字続出のまま終戦。５０万の負債を抱え、理事長の個人的な責任（当時のいきさつでそうせねばならなかった）となり、現在もまだ通産省内の旧軍関係処理機関に毎月払っている。

戦後一時組合も去勢された様になったが、なんとか立ち直さねばと努力し、昭和２４年、材料不足を解消し、工場の再建を図る為アメリカ故鉄の共同購入を一千万円程度契約したが、日本入荷の際には日本の故鉄相場が暴落し、又大阪商社にだまされ大きな損害を受けた。（その後貿易商社が責任を取った為金銭的な損害はなくなった）

又昭和２５年頃、石炭統制が解除した為、中小炭坑が苦境に陥り、組合員の合計で二億七千万の回収不能の売上債権が出来たので、何とかしてくれと県に陳情その熱意に打たれた県の斡旋により、組合が金のかわりに石炭を炭坑よりもらい、それを石炭の必要な瀬戸物焼を作っている瀬戸協同組合にバーターしたが、これも石炭のボタ混りの為、瀬戸側の不良製品納品により、双方共喧嘩別れになり、全力を尽したがその割にはうまくゆかず、考えても残念で仕方がない。

私は変則的な理事長であった。何故なら、資材統制時代の為、組合員の中に経済違反者が続出し、工場経営者が理事長になることを変えた為である。

兎に角、支那事変の最中から大東亜戦争、終戦後の混乱期迄が私の人生の活躍の舞台であった。大きな問題が山積みし、今の状態で考えられることではない。」

過去を懐しむが如き、又一倍の努力をしても運命に見放される花田氏ではあったが、その情熱と鉄工界を愛する気持は現在もまだ燃え続けている様だった。最後に組合に対する意見を聞いてみた。

1. 専務理事を置く事‥‥現在は参事だけだから、対外的には理事長としての代弁者にはならない。
2. 組合事業を再検討する‥‥基礎資材の共同購入を活潑にする。
3. 銀行業務を考える‥‥企業の体質を強めて、金利負担を軽減する為

青年会に対する希望意見

1. 組合規約を改正してもらい、青年会の具体的な意見を充分取り上げ、活動分野を広げる。
2. 直方鉄工組合の再編成を図る事‥現在進歩的ではあるが中性的になっている。

人物瞬評

○先生になりたい。
無心な子供に、知ったふりして教える。
ああ、この快感、私は‥‥

Mr.IINO

○スピード王
遠賀土堤行きゃあ
ハイウエー　アーコラコラ。
これが、とばさずにおらりょうか

Mr. TAKASE

「もしもし　ここは高速道路と違いますよ。制限速度を守って下さい。制限速度を」　交通課

○この道だけはまじめ。
その証拠は三男三女の子福者。

Mr.ISOBE

○オールマイティ（自称）
ゆくところならざるはなく
ゴルフでこい
ボーリングでこい
ダンスでこい

Mr.MURAGUCHI

「仕事の方もたのみまっせ」　一同

○一読千言
チョッピリ　読んで
ガッポリ　しゃべる。

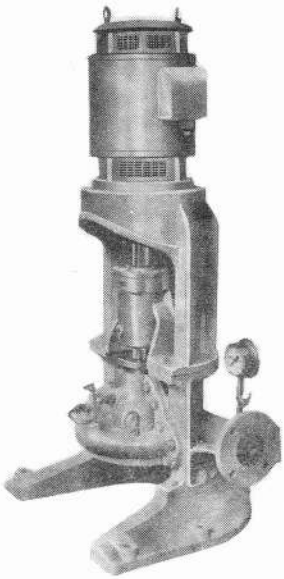
Mr.OOTA

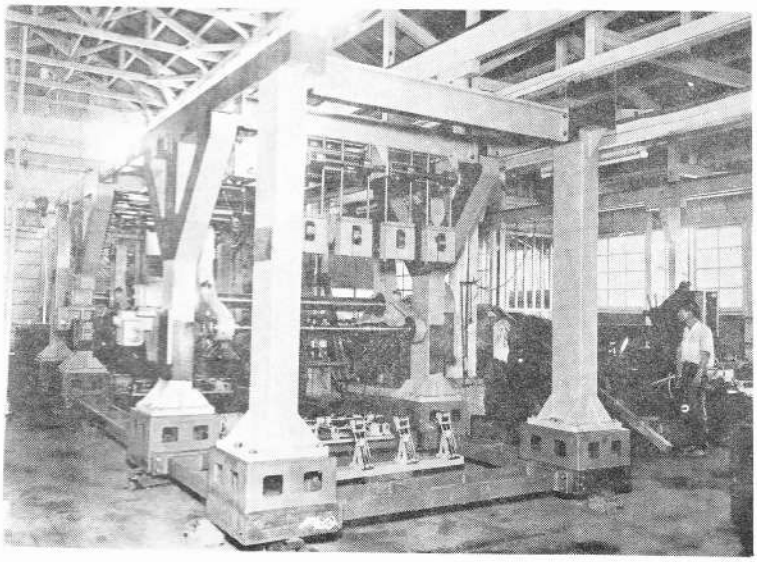
自　家　製　品　紹　介

株式会社　飯野鉄工所

炭坑ポンプの新作が減少してきた為に、船舶建造量では世界一の船のポンプに目をつけ、二年前より研究着手。

現在は月産３０台を製作、今年末には１００台になる予定。





株式会社　大同鉄工所

大同鉄工所では数年来、新聞社向けの輪転機給紙部を製作、既に８０台を突破している。本機は輪転機の下におかれ、新聞の巻取紙を送り込む装置である。高精度を要する機械で製作から据付まで全国各地の新聞社に納めている。

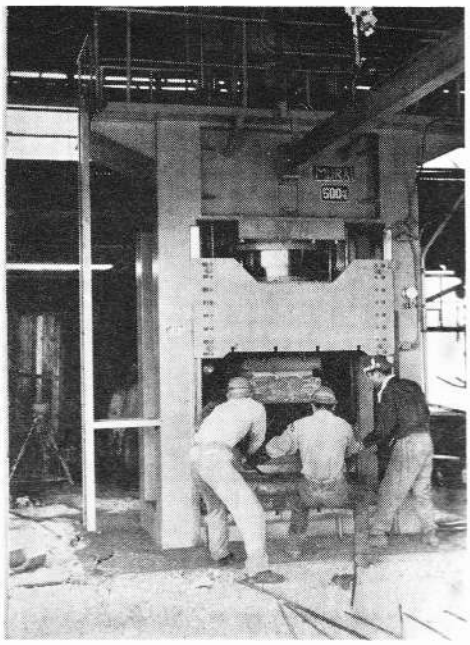
****

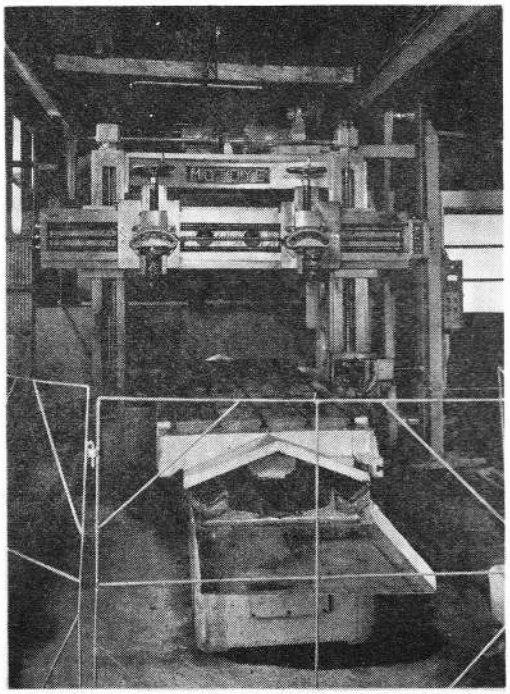
新鋭設備紹介

****

株式会社　内藤鍛造所

受注量増大に対処して、村井製缶製作の５００屯鍛造プレスを購入。これで今迄の２倍以上の増産となりすでにフル活動。品質、寸法、精度も非常によくなり、好評を博している。





福永鉄工所

大型物のプレーナー加工の増大に備えて、門型平削盤（本江機械製）を設置された。加工範囲は巾1,500長3,500、高1,200までの能力を有している。

このような大型プレーナーは直方では殆んどなかったので、今後は有利に仕事を導入することができる。

お　知　ら　せ

この度、市では工業の発展育成を図る為、新たに商工課の中に工業係が設けられました。

（係長）　北山氏　　（係員）　松田氏・浅川氏

◎工業係の仕事範囲

1. 工業の経営合理化、指導奨励に関すること。
2. 工場関係診断に関すること。
3. 工場集団化、協業化に関すること。
4. 生産技術及び設備近代化指導に関すること。
5. 中小企業融資（工業関係）ならびに金融斡旋（近代化資金）
6. 工業関係各種行事ならびに調査に関すること。
7. 発明考案に関すること。
8. 貿易に関すること。
9. 電力に関すること。
10. その他工業に関すること。

大いに利用して下さい。

会だより

7月17日　19時00　切削講習会　　於　組合会議室

講師　東芝タンガロイ株式会社技師2名

7月19日　18時30分　中小企業経営者セミナー　　於　スマロ

講師　柳田税理士

宇賀田教授（九州法科短大）

8月23日　18時30分　例　　会　　於　ロイヤル会館

保険の話　　講師　日本生命・松山氏

案　内

日頃の皆様の御労苦を癒うため一泊二日の慰安旅行を行うことにいたしました。

日程及びコースは次の様に決定致しましたので皆様の御参加を御願い申し上げます。

11月11日（土）

直方発 9.00 → 小石原 → 日田 → 天ケ瀬 1200〜1245 → 中村 →

九酔渓 → 九重登山口 → 牧の戸峠 → 水分峠（中食）

→ 由布院 → 別府 17.15 （別府泊）

12日（日）

旅館発 14.00 → 宇佐 → 中津 → 行橋 → 仲哀トンネル

→ 伊田 → 直方着（17時15分）

（宿　舎）　杉の井ホテル

あとがき

○青年会の例会はいつても出席率90%。これだけ関心の高い会は少いでしょう。お願いします。時間は出来るだけ厳守して下さい。会長のシワがふえます。

○会報を毎月だすのが、なかなか出来ません。互に多忙の身、生きる事が先になり許して下さい。

瑞　雲　第2号

昭和42年9月10日発行

（発行所）　福岡県直方市殿町5の1
直方鉄工青年会
電話　直方㈹3241番

（編　集）　飯　野　大三郎

（印刷所）　直方市古町8の22
高島プリント社
電話　直方㈹1290番